

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024 年 3 月 13 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 150-0002

所在地 東京都渋谷区渋谷3-8-12渋谷第一生命ビルディング7階

評価機関名 株式会社プレパレーション

認証評価機関番号

機構 20 - 253

電話番号 03-6427-7451

代表者氏名 岡 知己

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	小口敏英	経営	H2001065
	②	中野敬介	福祉	H2001064
	③	山口奈巳	福祉	H2101074
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	港区立神明保育園			
事業所連絡先	〒	105-0013		
	所在地	東京都港区浜松町1丁目6番地7号 プラザ神明1-3階		
	TEL	03-5733-6822		
事業所代表者氏名	菊地恵子			
契約日	2023 年 7 月 21 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 10 月 31 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 12 月 7 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 10 月 31 日			
自己評価結果報告日	2023 年 12 月 7 日			
訪問調査日	2023 年 12 月 11 日			
評価合議日	2024 年 3 月 13 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	保育園を現在利用している全世帯の保護者を対象とした利用者調査をおこないました。園から利用者調査案内を配布し、WEBにて回答してもらう形式にしました。きょうだいで利用している場合は、年齢が低い方の利用者について回答をしてもらいました。職員へのアンケートは紙面にておこない、鍵付きBOXへ提出してもらったのち、本評価機関に郵送にて回収しました。訪問調査当日は、施設内の見学をしたあと、経営層に質問しながら、事故簿やヒヤリハット等の書類の閲覧をして状況把握に努めました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- ☒ 機構が定める部分を公表することに同意します。
☐ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
☐ 別添の理由書により、公表には同意しません。

2024 年 3 月 13 日

事業者代表者氏名

菊地 恵子

印

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定） 1) 安心＆安全を第一に保育・育成を実施します 2) いつまでも思い出に残る施設となるよう日々の保育を大切にします 3) 職員が楽しく働けることで子どもたちを笑顔にします 4) 地域とつながり支え合う施設として社会に貢献します 5) 常に時代が求める子育て支援を実践し続けます
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割 社会人として誠実な態度で職務を遂行する。法令・規定・マニュアル・就業規則、倫理等を理解し、尊重する。 保育を楽しむ工夫をし、向上心を持って、目標達成、問題解決のための自己研鑽を図ることができる。 他の職員とコミュニケーションを取りながら自分のできることを進んで行う。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） 「子育て支援を通じて、笑顔溢れる社会づくりに貢献している」という理念を理解し実践すること 一人ひとりに心をかけ、愛情を注ぎ、成長に合わせたきめ細やかな保育を行うことで、変化の激しいこれからの社会を生き抜くための”生涯にわたる生きる力の基礎”を育む

調査対象

本園109世帯(利用者135名)を調査対象とし、65世帯より回答を得た。1世帯1回答とし、複数のこどもが利用している場合は年齢の低い方のこどもを対象に回答。

調査方法

アンケート方式
ID・パスワードを記載したWEB用アンケート案内文を園から全世帯に配布し、WEBにて回答してもらう方法で実施。

利用者総数	135
利用者家族総数(世帯)	109
共通評価項目による調査対象者数	109
共通評価項目による調査の有効回答者数	65
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	59.6

利用者調査全体のコメント

総合評価は、「大変満足」が78.5%、「満足」は20%、「不満」が1.5%という結果となり、「大変満足・満足」を合わせて98.5%と大変高い評価を得ています。自由記述では、「いつもこども・親に大きな心で接してください。こどもは先生を信頼しており、園に行くことを楽しみにしています。親も安心して仕事に行くことができます。」「1年を通して昆虫や海の生き物、ハムスター等が展示されており、都心では普段接する機会の少ない生き物の生態を観察できて有難いです。絵本コーナーも充実していますし、イベント毎の飾り付けや写真の展示などもこまめにしてくださり、親子で楽しみながら通っています。どの職員の方もすれ違ふと挨拶をしてくださり、園長自ら声掛けをしたりお花の手入れをしているのを見てみると、良い保育園だなと感じます。」といった安心できる職員の対応と充実した保育環境に感謝の声が多数寄せられています。そのほか、行事の案内などは早めに教えてほしい、園で必要なものに関する情報をもう少し詳しく教えてもらいたい、保護者面談でもう少し話す時間を設けてほしい、といった要望が寄せられていました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	64	1	0	0
この項目では「はい」の回答が98.5%、「どちらともいえない」は1.5%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い満足度を得ています。自由記述では、「夏に、登山のイベントをしてくれたのがとても楽しかったようで、素晴らしい取り組みだと思いました。」「毎日発達の過程を考慮した遊びが実施されており、こどもたちもとても楽しそうです。」「定型的な1日の活動以外に、制作やイベント等かなり考えられたプログラムが実施されており日々成長に驚かされます。」というコメントがありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	64	1	0	0
この項目では「はい」の回答が98.5%、「どちらともいえない」は1.5%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い満足度を得ています。自由記述では、「苦手だった体操や英語も楽しいようで、自宅でも率先して実践しています。」「園長先生が季節ごとに園内の装飾を変えてくださり、登降園時に親子の会話がが増えていて本当にありがたいです。」「制作や体操、音楽などプログラムや園での活動の話はよくしてくれます。」というコメントがありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	63	2	0	0
この項目では「はい」の回答が96.9%、「どちらともいえない」は3.1%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い満足度を得ています。自由記述では、「手作り栄養満点、味も美味しいようで毎日楽しみにしています。」「とても丁寧に調理していただき本当にありがとうございます。大きさや硬さなどもきめ細かく対応いただいております。」「季節のものも使いながらさまざまなメニュー展開があり良いと思います。」というコメントがありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	59	5	1	0
この項目では「はい」の回答が90.8%、「どちらともいえない」は7.7%、「いいえ」が1.5%、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「都会の保育園ながら、公園等への散歩、虫の飼育、園庭や屋上庭園を利用した栽培・打ち水・田植え・稲刈り・ハロウィンなど近隣法人の協力によるイベントなど、様々な機会を作ってくださいます。」「屋上庭園では土に触れる機会もあり、こどものカバンからさつまいものはつばがたくさんでてきて驚いたほどです。」というコメントがありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	49	3	1	12
この項目では「はい」の回答が75.4%、「どちらともいえない」は4.6%、「いいえ」が1.5%、「無回答・非該当」は18.5%という結果となりました。自由記述では、「どんな時も園児、保護者どちらにも寄り添って対応してくれています。」「当日でも空きがあれば対応していただけるのであまり利用することはないのですがいざという時に安心です。」というコメントがありました。そのほか、今のところ当日に変更した経験がない、といった声が寄せられています。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	58	5	0	2
この項目では「はい」の回答が89.2%、「どちらともいえない」は7.7%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は3.1%という結果となりました。自由記述では、「物理的な安全対策はかなり配慮されていると感じます。」「やむを得ないお友達同士のトラブルなどを除き、安全対策は完璧と言えます。危ないことは先生方が事前に防いでくれますし、きちんとマニュアル化されているのではと想像します。」というコメントがありました。そのほか、廊下のコンクリートの柱は対策があると良い、といった声が寄せられています。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	53	8	2	2
この項目では「はい」の回答が81.5%、「どちらともいえない」は12.3%、「いいえ」が3.1%、「無回答・非該当」は3.1%という結果となりました。自由記述では、「面談や懇談会の日時も参加しやすい園が配慮してくれています。」「行事や保護者会などは土曜日が多く助かります。個人面談は平日のみですが前もって希望時間を聞いてもらえるので出来るだけ参加させてもらっています。」というコメントがありました。そのほか、行事の案内が数日前の周知で都合がつかず参加できなかった、といった声が寄せられています。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	61	2	1	1
この項目では「はい」の回答が93.9%、「どちらともいえない」は3.1%、「いいえ」が1.5%、「無回答・非該当」は1.5%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「本当によく子どもをみてくれ、親身になってくれています。こどもと先生の信頼関係も感じます。」「疑問、不安に思ったことはすぐに聞きやすい環境です。」「先生方は細やかにこども一人ひとりのことをみてやりとりしてくださっていると感じます。」というコメントがありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	63	2	0	0
この項目では「はい」の回答が96.9%、「どちらともいえない」は3.1%、「いいえ」は0%という結果となり、大変高い満足度を得ています。自由記述では、「衛生面ではとても行き届いた園です。また机や椅子も安全に配慮されいつも整然と片付けられています。」「危険なおもちゃなどは見たことがないですし、0歳児クラスのおもちゃは毎日拭いてきれいになっているのを見ました。とても安心できます。」「毎日朝、夕方清掃してくれていて恵まれた環境です。」というコメントがありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	62	3	0	0
この項目では「はい」の回答が95.4%、「どちらともいえない」は4.6%、「いいえ」は0%という結果となり、大変高い満足度を得ています。自由記述では、「職員の皆様はいつも明るく大きな声で積極的に挨拶してくださいます。」というコメントがありました。そのほか、新たに制服が導入されて清潔感があって良いがもう少し自由度があっても良いのではないか、職員による、といった声が寄せられています。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	58	5	0	2
この項目では「はい」の回答が89.2%、「どちらともいえない」は7.7%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は3.1%という結果となりました。自由記述では、「どんな小さなけがも詳細に教えてください、次の日まで気にかけただけです。親よりもよく見てくださっていて本当に感謝しています。」「体調悪くなるとすぐに連絡をくれ、事務室に移動して他の先生が見てくださるので安心です。」というコメントがありました。そのほか、状況が不明のけががあった、といった声が寄せられています。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	46	7	1	11
この項目では「はい」の回答が70.8%、「どちらともいえない」は10.8%、「いいえ」が1.5%、「無回答・非該当」は16.9%という結果となりました。自由記述では、「乳児クラスでは発生事象について共有があり、こどもの様子をこまかく観察されていることがうかがえましたが、幼児クラスになってからは少し情報が減ったように感じます。その旨を伝えてからは詳細に情報提供があり、安心しています。」というコメントがありました。喧嘩やトラブルがあった時の情報は、もう少し詳しく教えてほしい、といった声が寄せられています。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	61	3	0	1
この項目では「はい」の回答が93.9%、「どちらともいえない」は4.6%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は1.5%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「いつも大きな心で接して成長に寄り添ってくださっています。」「連絡ノートにも毎日の行動が記入されており、お迎えの時もこどものエピソードを教えてください。たくさんのおこもがいののに、素晴らしいと本当に尊敬します。」「喧嘩などの際には必ず両者に話を聞いてくれているようです。」というコメントがありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	53	4	0	8
この項目では「はい」の回答が81.5%、「どちらともいえない」は6.2%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は12.3%という結果となりました。自由記述では、「個人情報等には非常に厳しい管理をしていると感じます。」「おむつ替え(大)をこどもが恥ずかしがって立って替えますが、先生はいつもこどもの要望に沿って対応してくださっているようです。」というコメントがありました。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	56	8	1	0
この項目では「はい」の回答が86.2%、「どちらともいえない」は12.3%、「いいえ」が1.5%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。自由記述では、「毎日具体的に1日のことを教えてください。様子が目に見えるようで助かっています。」「毎日お迎えの時の説明は親も気がつかない発見なども多くとてもよく見てくださっていると思います。」「保護者会や面談で日々の様子や目標を共有できていると思います。」というコメントがありました。そのほか、保育参観のような機会があるとよい、といった声が寄せられています。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	52	3	1	9
この項目では「はい」の回答が80.1%、「どちらともいえない」は4.6%、「いいえ」が1.5%、「無回答・非該当」は13.8%という結果となりました。自由記述では、「かなり迅速に対応してもらっていると思います。園長先生からの声かけからも、報告が園長先生までしっかりと伝わっていることも感じ取れます。」「基本的にはきちんと対応いただいています。」「うやむやにせず、誠意を持って対応してくださいませ。」というコメントがありました。そのほか、全職員へ共有されていないと感じるときがあった、といった声が寄せられています。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	37	7	3	18
この項目では「はい」の回答が56.9%、「どちらともいえない」は10.8%、「いいえ」が4.6%、「無回答・非該当」は27.7%という結果となりました。自由記述では、「常に廊下に掲示があります。」「園内には常に第三者委員のポスターが貼ってありますので、オープンにしていることがわかります。」「実際に他機関へ紹介いただいたこともございます。」というコメントがありました。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目		
	カテゴリー1		
1	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリー1の講評		
	保護者と職員に法人と園の両方で理念の浸透と共有を図る多面的な取り組みがあります 園では経営理念や保育理念、園目標等を、ホームページやパンフレット、入園のしおりなどに掲載のほか、玄関に掲示することで日常的な周知と浸透を図っています。新入職員には法人のCREDOを配付し、入職時のオンライン研修や法人作成の動画を使った説明で理念を伝えています。職員に対しては、職員会議や話し合い、自己評価振り返りシートなどを活用し、理念の確認や振り返りをする機会を設けています。保護者に対しては、入園説明会や園見学時に園長や副園長が丁寧に説明し、園だよりや運営委員会、クラス懇談会を通じても理念を共有しています。 職員に対する理念の共有と浸透を促進するための組織的な仕組みがあります 園の理念実現のため、職員の職務要件定義をもとにした各自の役割を明文化し、毎年職務分担表の作成と、法人策定の保育園業務マニュアルの読み合わせをおこなっています。職員会議では、行事計画に理念や園目標が反映されているかを話し合い、自己評価振り返りシートや目標管理シートを活用して理念の確認と振り返りをおこなっています。また、法人の階級別研修を受講した職員はレポートを提出し確認しています。定期的な園内研修を通じて、園が目指す保育の方向性について職員間で話し合う機会を設け、意識統一を図る組織的な取り組みがあります。 重要な案件の検討や決定手順とその伝達経路を明確に定め周知共有する仕組みがあります 法人は重要な案件の検討や決定手順を保育園業務マニュアルに記載し、園では組織図を用いてその伝達経路を明確にし、職員に周知しています。園長会での決定事項を園の職員会議や屋礼、回覧を通じて全職員に情報共有しています。園内の案件は園長、副園長、全体リーダーが集まり、課題について話し合い、方向性を決定した後、職員会議で検討し決定しています。欠席職員にはスタッフノートや回覧物で記名確認しています。保護者への重要事項の伝達は、運営委員会や園だより、手紙の配付、園内掲示、連絡帳や連絡アプリの一斉配信を通して伝えています。		

2 カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準项目实施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準项目实施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
保護者や職員からの意見を積極的に収集して、園の運営に活用する仕組みがあります 園では保護者からの意向やニーズを集め把握するために、毎年運営委員会や年2回懇談会を開催しているほか、行事後にもアンケートを実施しています。連絡帳や連絡帳アプリのコメント機能、ご意見箱の設置を通じて、日常的に意見を収集しています。アンケートの結果は集計後、保護者が閲覧できるように掲示しています。また、職員に対しては職員会議や屋礼での話し合い、年4回の職員面談、未来キャリアアンケートや意向調査を実施し、職員の意見を収集しています。保護者と職員の声を大切にして、園の運営に反映させるための組織的な仕組みがあります。 地域や業界のニーズに応えるため情報収集に努め、園独自の中期計画を策定しています 園では地域の福祉の現状を理解し、地域や業界のニーズに応えるための情報収集に努め、自治体の保育指導担当の巡回や公私立園長会、法人園長会に参加し、行政や福祉事業全体の動向を把握しています。これらの情報と法人の様式をもとに園長は5か年の「長期計画・中期計画(令和4年～8年)」を策定しています。中長期計画は5年の長期目標と中期計画として単年度の項目別の欄を設け、半期ごとに設けられた欄に反省点や改善点を記入しています。また、中長期計画を踏まえて単年度の事業計画書や全体的な計画、年間指導計画など各計画を作成しています。 法人による組織的に統一した計画策定や見直し手順などの仕組みを整備しています 園では、年度始めに職員との話し合いを通じて計画を策定し、週ごとや月ごと、年度末など各計画ごとに定められた時期に計画の振り返りと見直しをおこなっています。計画書や議事録の書式は法人で統一されており、計画の見直し時期や手順も法人で定められています。毎年法人からのアンケートに答える形で、計画書などの書式や見直し時期、手順などを常に改善する組織的な仕組みがあります。園では各計画に対し、定められた時期に定められた手順を通じて、計画の進捗を確認し、必要に応じて見直しをおこない計画目標の達成を目指す取り組みがあります。		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー3の講評

職員が法律や倫理を遵守し、適切な行動を取るための組織的な仕組みを整備しています

法人は法令遵守とコンプライアンス強化への取り組みとして、入職時に法人のCREDOカードの配付と就業規則を通じて説明をおこない、等級別研修で定期的に確認する仕組みがあります。また、コンプライアンス委員会の設置や毎月社内監査の実施、社外顧問弁護士への直接通報制度の導入など体制を整備しています。園では保育園業務マニュアルの読み合わせや保育士のための自己評価チェックリストの実施、労働環境のモニタリングなどを通じて職員の意識を高めています。法人内外の相談窓口の体制を整備し、職員更衣室等に連絡先を掲示し周知しています。

苦情解決制度を整備し、不適切保育と虐待防止に力を入れた組織的な取り組みがあります

園では、苦情解決制度について入園前の説明会で園のしおりを配付し説明をおこない、玄関にご意見箱の設置と苦情相談窓口の連絡体制を掲示しています。虐待防止に関しては、職員会議や屋礼での話し合い、職員間での情報共有に取り組み、不適切な保育になっていないかを振り返る機会を設けています。法人からの注意喚起や通報窓口設置、園内研修や自己評価チェックシート、人権擁護のためのセルフチェックリストの実施などを通じて職員の意識向上を図っています。虐待の疑いがある際は、職員と情報共有のうえ、関連機関と連携する体制を整備しています。

「地域に根差した保育園」を目指し、積極的な地域交流と地域貢献活動を実施しています

園は地域貢献のため延長保育事業や一時預かり事業、休日保育、年末保育などの特別保育事業を実施し、地域の福祉ニーズに応えています。「保育園で遊ぼう」や日曜日・祝日の園庭開放、絵本の読み聞かせイベントなど地域交流企画を通じて、地域の子育て家庭と関係性を深めています。地域のお店での買い物体験や消防署見学、書き初め会での高齢者との交流、近隣保育園とのホッケー教室開催、近隣施設での田植え・稲刈り体験などを通じて、子どもたちが地域の文化や人々と触れ合う機会を積極的に設け、地域の一員としての意識を育む取り組みがあります。

カテゴリ4		
4 リスクマネジメント		
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準项目实施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の 標準项目实施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
法人と区のマニュアル両方を導入して総合的なリスクマネジメント体制を整備しています 園では、法人の保育園業務マニュアルと区のマニュアルの両方を用いて安全対策を強化しています。保育室や事務所に緊急時の対応フローや連絡先を掲示して発生時に迅速に対応できるようにしています。戸外活動時の置き去り防止のための仕組みづくりを徹底し、お散歩マップはエリアごとに注意すべき箇所と内容を記し安全な戸外活動をおこなっています。インシデントやアクシデントは各クラスで対策を話し合い、職員会議や屋礼で皆で持ち寄った意見を検討しています。法人内部監査による自主点検や定期的な監査も実施し、園の安全と衛生を保持しています。 災害対応と事業継続のため、園独自の事業継続計画(BCP)を策定しています 園では、災害や深刻な事故のリスクに対応するため、法人のフォーマットを基に園長が地域の実情に合わせた園独自の事業継続計画(BCP)を策定し、災害時行動マニュアルに基づいて、出勤計画や時差帰宅計画を含めた対応策を定めています。職員には計画の説明と毎月の避難訓練を通じて確認と共有をしています。事業継続計画、災害時行動マニュアル等の資料は園の事務所と玄関に設置し、いつでも誰でも閲覧可能な状態にしています。また、保護者に対し、感染症や災害時の対応に関する情報を、園だよりや保健だより、園のしおりを通じて周知しています。 マニュアルと規則で個人情報の取り扱いを定め、厳格な管理と保護に取り組んでいます 園では、個人情報の取り扱いに関して保育園業務マニュアルと就業規則、港区個人情報保護条例に基づいて情報を適切に管理しています。個人情報は鍵付きキャビネットに保管し、指定された場所での重要書類の管理を徹底しています。クラスタブレットの持ち出しは個人情報持ち出し管理台帳で厳重に管理し、システムやパスワードにはアクセス制限を設け、重要なデータはネット接続していないパソコンで管理しています。パソコンの管理については、年1回内部監査でチェックをおこなっています。保護者には入園時説明会で説明し、書面にて同意を得ています。		

5 職員と組織の能力向上			カテゴリ-5
サブカテゴリ-1(5-1)			
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる		○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している		○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している		○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している		○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている		○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている		○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている		○非該当
サブカテゴリ-2(5-2)			
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		○非該当

カテゴリー5の講評

法人本部と園で連携しながら人材確保と人員配置をおこなう組織的な取り組みがあります

採用活動は法人本部人事・採用部採用課が中心となっておこない、園ではミスマッチを防ぐために園見学と十分な説明をおこなっています。園では求める人材の確保のために職員紹介制度の活用や、会社全体で定期的な学校訪問を実施し、情報を共有して次年度の実習生確保につなげています。採用時には、本人の希望や将来性を考慮し、園の状況を踏まえたうえで適材適所の人員配置をおこなっています。入職後は未来キャリアアンケートや個人面談を通じて本人の意志を確認し、必要に応じてエリア長との面談も実施して職員のキャリア形成をサポートしています。

等級別研修など体系的な人材育成体制で職員の成長を支援する組織的な仕組みがあります

法人は職員の長期的なキャリアパスを見据え、キャリアアップ研修、処遇改善と結びつけたキャリアパスを策定し、等級に応じた自己評価制度と等級別研修を通じて適切な評価と組織的な育成体制を整備しています。職員は毎年、個人別研修目標を設定し、半期ごとに職員面談で進捗状況を確認しています。法人や区の研修が数多く充実しているほか、今年度は園内研修(STEAMS保育)に力を入れた取り組みがあります。また、姉妹園への交換研修や外部研修の内容はレポートや発表を通じて園内で共有し、職員間での学びを促進しスキル向上に努めています。

ワークライフバランスと意欲向上、チームワークの形成を促進する取り組みがあります

職員が安心して長く働ける環境づくりのため、定期的な職員面談や産業医による職場巡視を実施し、希望の休暇取得に努めワークライフバランスに配慮しています。また、意欲と働きがいの向上のために、個別面談やヒヤリングノートを活用し、職員の意識や状況を把握しています。良好な人間関係構築に対し副園長2名の保育補助、チューター制度の導入、新卒や中途入職者への支援体制、職員全員で協力して課題を解決するなどの取り組みがあります。職員主体でこどもたちに提供するイベントを定期的 to 実施し、チームワークの形成に繋がる取り組みがあります。

7 カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
園は前年度の課題として、年度によって担任の構成メンバーも変わる中、保育環境と保育の質の向上において統一した方向性を継続して積み重ねていきたいと考え、保育環境の見直し、保育の質の向上及び職員の資質の向上に取り組みました。まず、保育環境の見直しでは、働きやすく保育しやすい環境づくりに取り組み、職員の労働面も考えて固い床の上にクッションを設置し足が痛くならないようにし、授乳イスを準備して職員が楽しく保育しやすい環境にしました。保育の質の向上は、コロナ禍で増えたオンライン研修を活用し積極的に参加したほか、行事等の制限の中で新たな工夫を凝らすことに取り組みました。研修においては、姉妹園への交換研修のほか、今年度からは園内研修にSTEAMS保育を取り入れ、エリア統一テーマの「天気」について活動しました。職員の資質の向上に対しては、チューター制度を活用し丁寧に説明に取り組み、方向性の統一に対しては、議題についてクラスごとに話し合った内容を昼食に持ち寄り話し合うことで保育観や方向性の統一を図りました。今後は、保育環境と保育の質の向上への継続した取り組みとして、安全対策について適切な保育環境の見直しに着手する予定です。	
目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
園では、保育環境の見直し・保育の質向上・職員の資質向上への継続的な取り組みをおこなっています。保育環境の見直しについて、授乳室の椅子を取り替え、楽しく保育しやすく働きやすい環境を目指す取り組みをおこないました。保育の質向上は、研修第一で積極的に法人や区の研修やオンライン研修、動画研修に参加することでスキルアップを目指しています。また、今年度からは園内研修にSTEAMS保育を取り入れ、法人エリア統一テーマの「天気」について、こどもからのなぜ?どうして?に保育者が答えられるように、調べた研究結果の発表や、こどもたちの前で実験を披露するなどの活動に積極的に取り組んでいます。また、コロナ禍で行事の制限が多かった中でも、こどもたちに多様な経験をさせたいと工夫して各種行事をおこなっています。今後の課題として、安全対策に取り組む中でルールの繰り返しの追加で制限が多い現在の過剰な保育環境を今一度改めて見直し、こどもへの声かけやこども自身に注意喚起したり、保護者にも理解を得ることなど、こどもが安全で過ごせる保育環境について園全体で見直す計画があり期待します。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

園は前年度の課題として、保育理念や園目標を考えた行動ができているのかを改めて検討し、季節の行事の中に「園で大事にしていること」を盛り込む事を検討し、園の方針として「日本文化の継承」を目標に設定した取り組みをおこないました。行事後に保護者アンケートでご意見等を収集し、次の活動に活かすようにしました。具体例としては、前年度と同じ行事であっても「豆まき」等、行事が終わった後日も子どもたちが怖がりする様子が見られるものは再度検討して、子どもたちが楽しめる行事にしていこう工夫を考えています。「日本文化の継承」という点では「季節」を子どもたちと楽しむ工夫をしました。子どもが園外のプランターに季節の花や野菜の種を植えたり綿の種を植えることで、植物の成長を観察することができました。暑い夏で育った植物をテラスで遊びながら「季節」を感じながらその時に育った植物で色水を作ったり、おままごとしたり遊びを広げることができました。取り組みの結果、新型コロナウイルス感染症が続いていた頃と比べると、行事も少し以前の状態に戻りつつあり、経験の浅い職員にも教えながら一緒に進めることができ今後も継続していく予定です。

目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評

園では、前年度からの課題として、コロナ禍で行事や行動の制限が多かった中で、縮小したり途切れかけていた「日本文化の継承」を改めて再開していくことに取り組みました。保護者を招いて実施した「お茶会」では、現在ペットボトルのお茶が主流になっている時代にお茶を急須で入れる経験や、お茶をたてる経験を目的に、5歳児が卒園する直前のひな祭りの時に、保護者や職員に対して感謝の気持ちでお茶をたてて羊羹を振る舞いました。また、「書き初め」では、隣接する高齢者向け福祉施設で習字を教えている先生方にボランティアで子どもたちに書き初めの指導をしてもらい、伝統行事を通して地域や高齢者との世代間交流を図っています。園内では季節の花や野菜の生育をおこない、園外では散歩中に交流を持った地域のビル内に設置されている田んぼで毎年田植えと稲刈り体験をおこなわせてもらい食育に活かす取り組みがあります。これらの取り組みは、子どもたちに日本の伝統文化の継承だけでなく、コロナ禍で行事を体験していなかった経験の浅い職員にも有意義な取り組みとなっています。今後も引き続き保護者や近隣の施設の協力を得ながら、子どもたちに日本文化の継承への取り組みの継続に期待します。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目 (カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当	
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当	
サブカテゴリ-1の講評			
園の基本情報や保育の特徴を、ホームページで分かりやすく発信しています 園の情報は、法人や園のホームページを通じて、利用希望者に対して積極的に発信をしています。園のホームページでは、園長からのメッセージとともに施設紹介動画を掲載しているほか、施設概要やアクセス、保育内容、園の取り組みなどについて分かりやすく周知しています。また、施設の様子として、園で過ごす子どもたちの写真をコメント付きで紹介しています。また、法人のホームページには、多彩な学習プログラムやバランスの良い安全な給食、保護者の荷物の負担軽減などに取り組んでいることを伝えています。 施設概要や保育理念など、利用希望者が知りたい情報を、わかりやすく提供しています 利用希望者の特性に配慮して、パンフレットはカラーで印刷し、写真や文字のフォントを工夫するなどして見やすい構成にしています。法人の大切にする「すべては子どもたちの笑顔のために」の考えとともに、施設概要をはじめ、目標や保育方針、年間行事予定、一日の流れ、園内の様子などを掲載しています。また、港区のホームページには園の紹介文や基本情報を掲載して、施設情報が変更となるタイミングで都度更新をおこなっています。園の情報は、毎月自治体に定期報告をしているほか、芝支所会に参加し情報の共有を図っています。 園見学では、保育の特徴や取り組み、園行事の内容などについて詳しく紹介しています 園見学は、電話で受け付けており、園長、副園長、事務員が対応し、1日最大で4回実施しています。見学の日程は、見学希望者の都合に合わせて柔軟に対応しています。見学時には、園行事の写真を紹介しながら、各クラスで現在取り組んでいること、園全体でおこなう行事、環境設定の取り組み、入園後の慣れ保育前に一時預かりを利用できることなどについて丁寧に紹介しています。そのほか、育児で困っていることはないか話を聞いたり、必要に応じて区の相談案内のパンフレットを紹介するなどして、地域の子育て家庭の支援をおこなっています。			

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー2の講評			
入園時には、園の基本情報と保育方針を丁寧に伝え、保護者の意向を確認しています こどもの入園が決定した保護者には、入所時の説明会を実施し、入園のしおりを用いて園の基本的な情報や決まり、ルールなどを丁寧に伝えています。その後、入園前の個別面談をおこない、重要事項説明書に基づいて、保育園の理念、目標、方針などを詳しく説明しています。また、重要事項説明、画像使用、虫よけスプレー使用などの同意書を提出してもらい、保護者の意向を確認しています。同意の有無については、個人ファイルを作成し職員へ共有しています。新たな情報の提示が必要になった場合は、都度保護者に周知し、保護者の意向を確認しています。 個別のニーズに応じた慣れ保育で、こどもが安心して園になじめる環境を作っています 園では、入園前面談時にこどもの個別の事情や特性を把握し、児童票に記載して全職員で共有することで、個々のニーズに対応しています。入園後は、2週間を目安に慣れ保育をおこない、個々の様子や各家庭の状況に合わせて進めています。期間中は、食事や水分が十分に摂れるかなどを中心に少しずつ時間を延ばしながら、保護者の就業予定にも配慮して柔軟に調整しています。また、こどもが安心して園の生活になじんでいけるようになるべく同じ職員が関わる環境づくりに努め、こどもの負担を軽減するため個々に合わせた日程を組んでいます。 親子が安心して新しい環境に進むことができるよう配慮し、あたたかく送り出しています こどもが退園する際には、保護者の状況に応じて子育ての悩みを相談できる機関などのパンフレットを紹介して支援の継続性を図っています。退園児には、クラスでお別れ会を実施して写真を添えた制作物などをプレゼントしています。卒園児には、在園児から小物入れや写真などのプレゼントを贈り卒園をお祝いしています。保護者には、「いつでも遊びに来てください。」と声をかけ、何かあればいつでも相談しに来られることを伝え、継続的な支援をおこなっています。5歳児は連携する小学校への学校訪問をおこない、就学への期待感を高めています。			

サブカテゴリー3		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	13/13
3	個別状況に応じた計画策定・記録		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		○非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄り等話し合う機会を設けている		○非該当
サブカテゴリー3の講評			
入園前面談でこどもの情報を収集し、必要に応じて随時情報の更新をしています 園では、児童票の記載項目の内容に沿って、保護者に成育歴、予防接種状況を含む健康状態、入園前の生活状況について各家庭に書類を記入してもらい提出をお願いしています。把握した内容は、個人ファイルにまとめたのち、鍵のかかる書庫で管理しています。入園後は、日々の連絡帳や送迎時のやり取りを通して保護者から情報を収集して、こどもの状況の把握に努めています。家庭状況に変更があった際には都度、情報を更新しています。こどもや保護者のニーズや課題は、年2回の個人面談などで把握し、個人面談記録に記載して屋礼で共有を図っています。 園独自の全体的な計画を活用し、職員で話し合い各種指導計画を策定しています 全体的な計画は、園長と副園長が作成し、職員へ周知しています。指導計画の作成にあたっては、年度始めに職員で話し合いをおこない、保育所保育指針に沿った計画となるよう各クラスで策定しています。各種指導計画は、年間指導計画をもとに個別の対応も含めたきめ細やかな対応を考慮して作成しており、個別の対応については園全体の共有課題として全職員で情報を共有して取り組むようにしています。保護者には、年2回の懇談会でクラス運営について共有するほか、保育室の入り口に週案を掲示してその週の予定を知らせています。 屋礼や申し送り表を活用して、職員同士の伝達をスムーズにおこなっています 指導計画に沿った保育内容となっているのか日々の評価と反省をおこない、指導計画に記載して翌日以降の保育に反映しています。各クラスの指導計画は、自由に閲覧できるように保管し変更があった際には、屋礼や職員会議で周知しています。毎週金曜日の屋礼では、こどもの姿やインシデントの共有をして、情報共有を図っています。日中の様子は、申し送り表に細かく記入し口頭でも引き継ぎをして、伝達漏れのないように努めています。こども一人ひとりに対する理解を深めるため、定期的にケース会議を実施して話し合う機会を設けています。			

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリー5の講評			
こどもの情報の適切な管理とプライバシー保護の徹底に取り組んでいます 園では、こどもに関する情報を外部とやり取りする必要がある場合に備えて、重要な事項、写真提供などの情報の取り扱いについて、入園前の面談時に同意書を提出してもらい、保護者の意向を確認し同意を得ています。入園後、新たに同意が必要な事項が生じた場合には、都度、保護者の意向を確認し同意を得るための体制を整備しています。また、名前を呼ぶ時は呼び捨てやあだ名で呼ぶことは禁止し、個人名に敬称をつけて呼び、必ず声をかけてから関わるようにするなど、こどものプライバシーや人権を尊重する保育を心がけています。 一人ひとりのプライバシーを守り、こどもの人権を尊重した保育に努めています 一人ひとり順番に他児や周りから見えない場所でおむつ交換をおこない、こどもの羞恥心に配慮した対応を心がけています。着替えをおこなう際には、上半身と下半身で分けて着替え、裸にならないような工夫をしているほか、パーテーションなどを設置して周りから見えない場所でおこなっています。また、3歳児以上のこどもは、男女で着替える場所を分けて着替えをおこない、3歳児未満のこどもも決められた場所で着替えるようにして、年齢に関わらずこどものプライバシー保護を徹底した保育に努めています。 日常の保育と研修で人権尊重の意識を統一し、不適切な保育防止に努めています 日常の保育の中でこども一人ひとりの人権を尊重するために、屋礼や職員会議で「保育内容」について事例を挙げて職員同士で検討する機会を設けています。地域にある人権プラザでは、こどもの人権や職員の振る舞いについての研修を受講し、職員の意識を高めるとともに意思の統一を図っています。さらに、より良い保育のため、毎年人権擁護のためのセルフチェックリストを活用し、自身の保育を振り返る機会を設け、不適切な保育について他園の報道があった際には法人から情報を共有して、不適切な保育防止に取り組んでいます。			

サブカテゴリ-6	
6 事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている ○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている ○非該当
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している ○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(〇〇)	
評価	標準項目
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている ○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている ○非該当
サブカテゴリ-6の講評	
マニュアルの読み合わせやフローチャート掲示で、業務手順の徹底を図っています 園では、法人本部が作成した保育業務、与薬、衛生、感染症などの各種マニュアルを整備し、基本的なサービスの手順を明確にしています。マニュアルに記載されている基本事項や手順などは定期的に点検し、マニュアルが変更された際には全職員で閲覧して確認しています。また、業務の手順が的確に浸透するように、保育業務マニュアルや救急救命マニュアルは年1回読み合わせをおこなうほか、園内の必要な場所に業務手順のフローチャートを掲示して、必要ときにすぐに確認ができるよう工夫しています。 法人の理念浸透と定期的な運営点検をおこない、職員の意識統一を図っています 法人は、入社時に法人のCREDOを配布し社会福祉施設で働く職員としての心得と行動指針を示しています。入社時の社内研修では、目指す保育について周知し理念の浸透を図っています。また、法人の月1回の月例監査や年1回の一般監査を受けて、定期的に園の運営に対しての点検をおこなっています。日常業務をおこなう中で手順の確認が必要と判断した場合には、職員会議などで適宜確認し、意識の統一を図っています。各種マニュアルや手順書は、掲示に加え事務室や保育室に保管し、いつでも自由に確認できるように整備しています。 マニュアルの定期的な見直しと保護者の意見収集で、サービスの質の向上を図っています 保育園の業務が適切におこなわれるように、法人の園長会で園業務マニュアルについて定期的に見直しをして、必要に応じて修正をおこなっています。提供しているサービスの見直しにあたり、保護者からの意見や提案を年度末にアンケートを実施して収集しているほか、行事後のアンケート、運営委員会の話し合い、日々の会話などからも収集し、必要に応じて改善を図っています。アンケートで収集した意見などは、集計後、改善を含めた方針を次年度に向けて策定し、園内に掲示して保護者にも共有、周知しています。	

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サブカテゴリー4	
サービスの実施項目	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 36/36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている 評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している
評価項目1の講評	
一人ひとりを把握するとともに、こどもたちの人権に対する意識を高めています 園では、こども一人ひとりの姿を把握するため、児童票をもとに発達状況、生活状況を確認し、家庭と連携しながら日々の生活の様子や成長、発育を把握し、ねらいや環境構成、どのような配慮が必要か検討しています。必要に応じて港区のカウンセリングを定期的に実施し、こどもの対応に関して相談をしています。また、こどもたちの人権に対する学びを深めるため、近隣の人権プラザを活用し点字ブロックなどの役割について施設職員の方から講話を聞き、さまざまな人権に対する理解を深め、自分たちの人権について考える機会を作っています。 こどもたちの「どうして？」から始める「STEAMS保育」に取り組んでいます こどもが主体的にさまざまなことに興味関心を持つことができるよう2023年度から「STEAMS保育」に取り組み、こどもたちの遊びの幅を広げています。取り組みでは、こどもの「どうして？」から「知りたい」気持ちを育むことを目的とし、こどもが課題を見つけ、自分なりの解決方法を考え実践していくことを大切にしています。現在は、今年度のテーマである「天気」に着目し、毎月職員による園内研修を通して学びを深め、こどもにもその成果を伝えていきます。取り組んだ内容は実践記録にまとめ、全職員で共有しています。 就学に向けて保幼小連携を図り交流を深め、円滑な接続に向けた就学準備を進めています 5歳児は就学に向けて保幼小連携を深め、小学校や近隣の保育園などとの交流の機会を設けこどもたちの関わりを深めています。小学校のグラウンドを借りて運動会をおこなったり、フィールドホッケー教室を近隣保育園と合同で開催したりして、こどもたちがさまざまな人との交流を通してコミュニケーションを深めています。こども同士のトラブルなどが起こった場合には、危険なことは伝えながらこどもの気持ちに寄り添った対応を心がけています。保護者には、就学相談のお知らせを掲示して、就学に関する悩みを相談できることを伝えていきます。	

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○ 非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○ 非該当
◎あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○ 非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○ 非該当
評価項目2の講評			
こどもの体調や様子などを保護者と職員が密に連携して把握・共有しています こどもの登園時には、個人ノートの内容を確認しながら体調や顔色、体温、怪我の有無などの視診をおこない、必ず保護者に声をかけてこどもの様子を共有し、体調の把握に努めています。保護者から得た情報は申し送り表やスタッフノートに記入し、全職員へ共有を図っています。その日の様子は、乳児クラスでは個人ノートで活動内容や喫食状況などを詳しく個別に知らせ、幼児クラスでは午前・午後のそれぞれの様子を記載したスケッチブックを毎日クラス前に掲示して周知しています。降園時には、口頭でもその日のエピソードなどを伝えていきます。 保護者との連携を重視し、こども一人ひとりの個性を尊重した支援をおこなっています 食事や排せつなどの基本的な生活習慣の自立に向けて、個々の年齢や月齢、発達状況を踏まえ、一人ひとりが身の回りのことに自ら興味関心を持てるよう支援しています。保護者には家庭での様子を聞きながら園での取り組みを丁寧に伝え、家庭と連携して個々に合わせた援助ができるようにしています。トイレトレーニングを進めるにあたっては、こども一人ひとりの成長や発達の違いに配慮して、無理強いくことなく、家庭での状況を保護者に聞きながら個々のタイミングとともに段階を踏んでゆっくり進めていくことを心がけています。 こどもの体力や家庭の生活リズム、こどもの状態に合わせて、休息を調整しています こどもの体力や家庭の生活リズムを考慮しつつ、その日のこどもの状態に合わせた休息が取れるよう調整しています。お昼寝の時間に眠れないこどもには、無理に寝かしつけはせずそのこどもに合った睡眠時間を考慮しながら、横になって身体を休める時間を設けています。早く起きてしまった場合には、絵本を読んだりパズルなどの机上遊びをしたりして、静かに遊んで過ごしています。5歳児は、進級とともにお昼寝をなくし室内で自由に過ごしているほか、まだお昼寝が必要な場合には個別にお昼寝の時間を設け保護者と相談しながら徐々になくしています。			
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している			評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている		○ 非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している		○ 非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している		○ 非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている		○ 非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている		○ 非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している		○ 非該当
評価項目3の講評			
こどもの自主性を尊重し、安心して遊べる安全で充実した環境づくりに努めています 保育室の環境は、年齢に合わせて絵本や手作り玩具を用意するほか、おもちゃや机上遊びなどのコーナーを作り子どもたちが自ら遊びを選び、集中して遊びを楽しめる空間と時間の確保をしています。年齢の低いこどものクラスでは、マットを多く使用して遊びの空間を分けて安全に配慮しています。年齢の大きなこどものクラスには、ちくちくことばやふわふわことば、声の大きさ、50音表、アルファベット表の掲示、ランチルームにはテーブルマナーを掲示するなどして、各年齢に合わせた掲示物を貼り子どもが意識して行動できる環境を整備しています。 年齢に合わせた絵本やプログラム活動を通じて、言葉や文化、身体表現を育んでいます 園では、0歳児のときから絵本の読み聞かせの時間を多く設け、子どもたちが言葉に対する興味関心を持ち、職員との応答的なやり取りを楽しめるようにしています。また、1歳児から5歳児までは、英語、音楽、体操といった社内講師によるプログラム活動を月2回導入し、外国の文化にふれる機会や楽器に親しむ機会、元気に身体を動かして楽しむ機会を設け、子どもたちが生活の中でさまざまな表現を楽しめるようにしています。取り組みの様子は、担当する講師の写真とともに毎月お知らせを掲示して保護者にも詳しく伝えています。 身近な自然を活用しさまざまな学びの機会を設け、子どもたちの心を豊かに育んでいます 園庭では、プランターを使って綿の栽培をし、収穫後にはクリスマス制作に活用したり、さつま芋を育てて芋掘り体験を楽しんでいます。近隣のビル内の田んぼを利用して稲を育てる体験もおこなっています。また、保護者から提供されたクワガタやメダカを飼育し、命を育む体験を大切にしています。職員が手作りしたピオトープを室内に設置し、身近に生き物を観察できる環境を整備しています。さまざまな自然環境を活用し、子どもたちが自然とふれあう機会を設け、季節の移り変わりとともに生き物や植物の生長を身近に感じています。			

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している		○ 非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している		○ 非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている		○ 非該当
評価項目4の講評			
子どもたちの興味や関心を広げ、主体的に行事に関わることで豊かな感性を育んでいます 園では、行事を進めるにあたって「子どもが主役」となるように、子どもたちが楽しんで参加できることを大切に考え、取り組んでいます。また、季節の行事を通じて四季の移り変わりを感じ、海外の文化にふれ、地域との交流を深めるなど、子どもたちの感性が豊かに育まれています。行事に取り組むにあたっては、明確なねらいや目標を設定し、子どもたちが主体となって進めています。そのため、子どもたちが興味を持てるように、日常の保育の中で行事にまつわる話をしたり、行事に関係する絵本を読んだりして、日々の活動の中に取り入れています。 子どもたちのアイデアを尊重し、やり遂げる力を育むとともに自信につなげています 夕涼み会や運動会では、子どもたちが団結力を高めるために力を合わせ、何事も最後までやり遂げ、そこから生まれる喜びや楽しさを感じられるようにしています。子どもたちのアイデアや発信をもとに、職員が必要に応じてアドバイスや提案をおこない、子どもたちのやりたいという意欲を尊重しています。夕涼み会では、4・5歳児クラスの子どもたちが屋台のお店屋さんとなり、商品を作ったりゲームをしたりして3歳児以下のクラスに楽しんでもらい、夏の雰囲気味わうとともに達成感から自信にもつながりました。 子どもたちの主体性を尊重し、保護者と協力して行事などに取り組んでいます 園では、屋上庭園を活用しプランターでさつま芋を育て、3・4歳児クラスで芋掘り遠足をおこなっています。苗植えや草取り、水やりのために長靴を家庭から持参してもらうよう保護者にも協力を依頼し、連携を図っています。園長指導のもと5歳児がお茶のたて方を学び、ひな祭りに合わせて保護者を招待してお茶会を開催し、子どもたちがお茶をたて日頃の感謝の気持ちを伝えています。また、現在園で取り組んでいるジオラマ作りを保護者にも声をかけ制作の協力を仰いでいます。保護者と協力して、子どもたちの充実した環境づくりに努めています。			
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○ 非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○ 非該当
評価項目5の講評			
保育時間の長い子どもが安心して過ごせるよう、個々に合わせた環境を整えています 保育時間の長い子どもたちが安心して楽しく過ごせるよう、子どもたちの要望を取り入れ玩具、制作、ぬりえなどのコーナーを設け、個々に興味のあるもので遊べる環境を整えています。夕方の時間には、子どもによって疲れが見られることもあるため、必要に応じてゴロゴロできる空間を設けたり、夕寝ができる場所を作ったりして、個々に合わせた対応ができるよう努めています。また、同じ部屋で過ごせるよう一時預かり保育室を活用し、コーナー遊びの場所を設けたり一時預かり保育室にしかない玩具で遊んだりして、遊びに集中できる空間を整えています。 子どもの年齢や時間帯に応じた保育で、安心して過ごせる環境を整えています 園は、希望があれば6時15分から、22時まで開園しています。朝早くに登園することも、夜遅くに降園することもなど、年齢もさまざまなため全ての子どもが安心安全に過ごせるよう状況に応じて年齢を分けて保育にあたっています。低年齢の子どもに配慮して、遊ぶ玩具は誤飲につながらないものを用意し、じっくりと遊べる環境を整えています。また、早番担当と遅番担当の職員が分かるよう「おはよう！のせんせい」「ごきげんよう！のせんせい」として、毎日担当職員の顔写真を1階の廊下に掲示して保護者の安心感につなげています。			

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している			評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○ 非該当
◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○ 非該当
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○ 非該当
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○ 非該当
◎あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている		○ 非該当
評価項目6の講評			
子どもたちが食事を楽しみ、食習慣を身につけるための環境づくりに取り組んでいます 2歳児以上の子どもたちは、ランチルームを使用し楽しい雰囲気の中で食事ができるようにしています。3歳児以上のクラスでは、職員も一緒に食事を摂り子どもたちが友だちや職員との会話を楽しんでいます。子どもたちの発達に合わせてテーブルや椅子の大きさを変えて、正しい姿勢で食事ができるように配慮し、食具も個人差を考慮した上でその子どもに合ったものを準備しています。玄関には、その日の献立のサンプルと使用している野菜を展示して、給食やおやつ時間が楽しいものになるようにしています。 子ども一人ひとりの食のニーズを把握し、その子どもに対応した食事の提供をしています 園では、月2回の給食会議で給食担当と子どもたちの嗜好を把握し、次の献立作成の参考にしています。献立は、サイクルメニューを使用して、1回目に子どもたちの食べ進みが良くなかったものなどは、2回目に調理方法や味付けを工夫して提供しています。アレルギー食を提供する際には、色の違うトレーや食器を使用し誰が見ても分かるように工夫しています。また、子どもの体調や保護者の要望に応じて、食事の形態を柔軟に変更しています。離乳食を提供する際には、保護者と給食担当、職員で面談をして確認しながら段階を進めています。 栽培活動や体験学習などさまざまな取り組みを通じて、食への興味関心を深めています 園では、食育計画をもとに2歳児から栽培活動に取り組んでいます。オクラやナス、ゴーヤなどの野菜のほか、さつま芋の栽培もおこない芋掘り体験も実施しています。5歳児は、あきる野体験教室に参加し、にじまのつかみ取りをして直接食材に触れる体験をしています。地域の田んぼが設置されているビルの協力で、毎年5歳児が田植え体験、4歳児が稲刈り体験を親子でおこない、食への興味関心を深めています。そのほか、三色食品群、箸の持ち方、給食当番活動などについて給食担当から話を聞き、食への知識を深めています。			
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		○ 非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている		○ 非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている		○ 非該当
評価項目7の講評			
安全な環境づくりと看護師による保健指導で、子どもたちの健康と安全を守っています 園では、園庭遊びの際に遊び方のルールを伝えたり、遊具の出し方を決めたりして子どもたちが安全に遊べる環境の整備に努めています。また、子どもたちが自身の健康について理解できるように、看護師による保健指導をおこなっています。病気などの予防のため、全クラスで手洗い指導を実施しているほか、年齢によってうがいや歯磨きの指導もおこない、子どもたちが主体的に自身の健康維持に向けた取り組みができるよう支援しています。また、看護師が中心となり職員向けにAEDを使用した救急救命訓練に取り組み、万が一の対応に備えています。 怪我や医療的ケアなど、子どもの安全に関わるあらゆる事態に備えています 日常の保育の中で、怪我や事故につながる恐れがある事案に気づいた際には、インシデントレポートを作成し昼礼や職員会議で職員全員に共有しています。実際に怪我につながった事案は、アクシデント報告書を作成し対策を検討しています。また、看護師が毎日各保育室を巡回して子どもの健康状態の把握に努め、気になる子どもがいた場合には、早めに対応するなど個々に寄り添った対応を心がけています。医療的ケアが必要な子どもには、入園時に必要な書類を提出してもらい状況に応じて各専門分野との連携を図り、協力して支援にあたっています。 保護者への情報提供と連携を重視し、子どもの健康を守る取り組みをしています 園では、ほけんだよりを毎月発行し、月ごとのテーマに沿って子どもの健康に関する情報を発信しています。玄関の看護師コーナーには、園で確認された感染症情報を掲示して注意喚起したり、保健所からのお知らせを定期的に掲示して情報提供をしたりしています。入園時の面談やほけんだよりを通じて、乳幼児突然死症候群(SIDS)について伝え、お昼寝時には0歳児は5分ごと、1・2歳児は10分ごとに視診と呼吸チェックをおこない保護者にも仰向け寝を推奨しています。そのほか、運営委員会を利用した保護者向けのAED講習も実施しています。			

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている			評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		○ 非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		○ 非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		○ 非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○ 非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		○ 非該当
評価項目8の講評			
保護者が安心して子育てと就労の両立ができるよう個々の状況に配慮して支援しています 園では、入園前の面談で就労状況や各家庭の状況の聞き取りをするともに、入園後も保護者と信頼関係を築き保護者の個々の事情に配慮した支援をおこなっています。要望などがある際には、日々の送迎時の会話や個人ノートのやり取り、個人面談などを通して把握し、園内で情報共有しながらより良い支援ができるように対応を検討しています。保護者の都合による急な残業や土曜日保育の依頼などにもその都度対応し、保護者が安心して働くことのできる環境の整備に努めています。また、園内にいつでも使用できる授乳コーナーを設け子育てを支援しています。 保護者同士の交流と子育て相談で、家庭と保育園の連携を図っています 園では、保育参観や年2回のクラス懇談会などの行事を通じて保護者同士が交流できる機会を定期的に設けています。懇談会では、保護者の子育ての悩みなどについて保護者同士で話し合いができる時間を設けているほか、保護者から挙がったテーマについて職員からアドバイスを送り不安解消へつなげています。また、年2回の個人面談で子どもの成長や課題について共有し、必要に応じて相談に乗って保護者の意思を尊重しながら家庭環境を考慮した上で継続的に適切な支援をおこなうよう努めています。 さまざまな機会を通じて、職員と保護者のコミュニケーションを大切にしています 職員と保護者のより良い関係を構築するため、日々の送迎時のコミュニケーションを大切に、個人ノートのやり取りや個人面談で保護者の思いに寄り添っています。保護者に気になる様子があれば、必要に応じて声をかけて個別相談に応じ、面談をおこなっています。また、保護者の希望に応じて一年を通して保育参観を受け付けており、保護者の就労状況に合わせて柔軟に対応しています。そのほか、2023年度は「水の事故防止」に焦点を当て、運営委員会の機会に保護者とともに消防署の指導のもと心肺蘇生法を学び、保護者と一緒に意識を高めています。			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○ 非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○ 非該当
評価項目9の講評			
地域のさまざまな資源を活用し、子どもたちの多様な体験につなげています 園では、近隣の高齢者支援施設で高齢者向けの習字の指導をしている先生の協力のもと、毎年幼児クラスの子どもたちに書き初めの指導をしてもらい交流を深めています。近隣の芝公園のイベントでは、防災体験の一環として起震車の乗車体験をおこない、地域のイベントを活用して子どもたちの防災への意識を高めています。また、モノレールの駅で見かけたフィールドホッケー教室の案内を通じて体験を申し込み、近隣の保育園と合同で体験教室を楽しみました。地域のさまざまな資源を活用し、子どもたちの多様な体験につなげています。 子育て支援の拠点として役割を果たすため、さまざまな地域貢献活動に取り組んでいます 園では、地域の子育て家庭を支援するため、「保育園であそぼう」を実施しています。園見学や身体測定、室内遊びや園庭遊びを提供し、子どもたち同士で交流する機会も設けています。また、地域の図書館の協力で、年8回お話し会を開き「保育園であそぼう」の参加者も含めて絵本や紙芝居の読み聞かせを楽しんでいます。そのほか、近隣の保育園と連携し、5歳児の保健教室を合同で実施して子どもたちの交流を図っています。保育士養成校とも連携し、実習生の受け入れをするなど、地域の子育て支援の拠点としての役割を果たしています。			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	園内のどこでも楽しめる豊かな遊び環境を整え、こどもたちの遊びが充実しています	
内容①	園では、園内のどこにいても楽しめる環境づくりに努めています。各保育室には、こどもの手の届く場所に年齢に合わせた玩具を設置して遊びこめる空間を設けています。ランチルームの横には図書コーナーやビオトープを設置し、落ち着いた雰囲気でも過ごせる環境を整えています。園庭には砂場や鉄棒、大型遊具などを設置しているほか、季節の草花や綿の栽培にも取り組んでいます。階段の登山ごっこでは、富士山の壁面を目指して本当に登山をしているような気分を味わっています。どこでも遊べる環境づくりに取り組み、こどもたちの遊びが充実しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	法人の専属講師による充実した学習プログラムで、こどもたちの可能性を広げています	
内容②	園では、法人の取り組みである多彩な学習プログラムを取り入れています。英語、音楽、体操のプログラムを法人の専属講師(キャスト)が担当し、それぞれ月2回、1歳児から年齢に合わせた活動を楽しんでいます。英語では、「英語って、たのしい！」という思いを持ってもらうこと、音楽は、全身で音楽を体験しながら10の音楽要素を身につけること、体操は、運動あそびを通して生きる力を育むことを大切に考え取り組んでいます。3月にはキャスト保育参観と称した保育参観を通して保護者にも成果を披露する予定です。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	3-3-1	透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる
タイトル③	定期的な園パンフレットの更新やブログ投稿など鮮度の高い情報発信に注力しています	
内容③	園では、利用希望者や地域に向けた情報発信に力を入れています。園で独自に作成しているパンフレットは、こどもたちの作品や季節の取り組みなどの写真を年3回更新し、見学者や利用希望者により鮮度の高い園の保育の様子を伝えています。ホームページでの情報発信のほか、地域や外部に向けたブログを毎月投稿し、保護者向けブログは毎週投稿をしています。より園や活動の様子が伝わるように写真を積極的に撮影し、こどもの写真掲載枚数が偏りなく平等になるように数えて確認し、投稿や配信時は園長か副園長が必ずダブルチェックする体制があります。	

No. 特に良いと思う点	
1	タイトル 職員の能力開発と資質向上のため、研修による育成を第一に、法人と園のそれぞれで組織的な支援体制を整備しています
	内容 法人では、職員の能力向上を図るために年間100コマを超えるさまざまな研修を実施しています。園ではコロナ禍において、研修をオンラインで受講できるようになったことで、移動なく受講することができ、計画的にシフトを調整して学びの機会増加につなげています。また、法人統一の研修レポート、研修計画の書式を新しく見直したことで、学んだ研修内容を保育の場でより活用しやすくなった仕組みがあります。コロナ禍が落ち着き、交換留学で他園との交流が増え「保育の質を高めよう」という意識が生まれており組織全体で成長を目指す環境があります。
2	タイトル 園内や近隣の自然環境を活用し、こどもたちが自然に触れ合える機会を設け、植物や生き物の生長や変化に気づく豊かな心を育てています
	内容 園内や近隣にある充実した自然環境を活用し、日々の保育の中でこどもたちが自然に触れ合える機会を設けています。園庭にプランターを設置し、チューリップなどの草花や綿の栽培に取り組んだり、近隣のビルにある田んぼを活用した田植え、稲刈り体験をしたりしています。屋上庭園では、サツマイモの栽培をし、芋掘りやクッキングもして育てる楽しみと収穫して調理する喜びを味わっています。また、サワガニやクワガタ、メダカなどの生き物の飼育を通して命を育む大切さを学んでいます。さまざまな自然にふれ、こどもたちの心が豊かになっています。
3	タイトル 園庭遊びや戸外遊びを多く取り入れるとともに、地域資源を活用した多様な体験で、こどもたちの可能性を広げています
	内容 園では、園庭遊びだけでなく近隣の公園などを利用して、戸外での活動を積極的に取り入れています。また、近隣の高齢者支援施設で習字を教えているボランティアの先生からは、こどもたちに書初めの指導をしてもらっています。芝公園で実施している総合防災訓練にも参加し、起震車の乗車や煙ハウス体験をおこないこどもたちの防災への意識を高めています。みなと図書館と連携し、絵本や紙芝居の読み聞かせをおこなうお話し会を年8回実施して、近隣の子育て家庭も招待しています。地域資源を活用し、こどもたちが多様な体験ができる環境を整えています。
No. さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル 職員への理念の共有方法を改めて検討し、方向性の統一によるモチベーション向上やチームワークのさらなる強化への取り組みに期待します
	内容 園では今年度、社会的関心の高まりを背景に、不適切な保育防止を重要課題と設定して力を入れているため、従来おこなっていた職員への理念浸透の取り組みが簡易化されています。他にも働き方改革による業務負担削減や労働時間の減少、コロナ禍での働き方の変化などの要因により理念の浸透にかかる時間が減少しています。計画作成時や、話し合いの中で理念を確認しながら共有する取り組みをおこなっていますが、理念や目標そのものの理解を深めるための時間や方法を検討し、園全体で方向性を合わせることに資する向上への取り組みに期待します。
2	タイトル 今後は、感染症対策をしながら、保護者参加型の行事をさらに充実させ、園での活動を通して親子の交流がより深まることに期待します
	内容 園では、親子の交流の場として保護者参加ができる行事を計画し実施しています。夕涼み会では、夕涼みの雰囲気親子で楽しみ保護者とこどもたちの思い出作りをしています。また、コロナ禍前には保護者支援の一環として乳児クラスを対象にベビーマッサージをおこなっていました。今後は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したことを受け、再び保護者支援の活動を充実させる取り組みをおこないつつ、親子で交流する機会を増やすことを検討し保護者参加行事のさらなる充実を期待します。
3	タイトル 職員一人ひとりの自信につながるサポートをおこない、自身の考える保育を職員が楽しんで取り組めるよう環境を整えることに期待します
	内容 園では、保育の質を向上させるため保育室の環境の見直しを定期的に図り、そのときのこどもたちの成長や発達に即した遊びの環境となるように努めています。また、副園長2名が必要に応じて各クラスの補助に入り、状況の把握と支援をおこない、こどもたちが安心して過ごせる環境を整備しています。今後は、遊びの環境の充実とともに、職員自らが発信して「やりたい保育」をどのように実現していくのか職員会議などで情報を共有し、園全体でサポートしながら、その実現に向けた組織的な取り組みに期待します。